

晴耕雨読 57

発行：株式会社 建設プロジェクトセンター
 建設コンサルタント・地質調査 解析・測量全般・
 ・補償コンサルタント登録
 〒869-1234 【※本社が北区弓削に移転しました】
 熊本県菊池郡大津町引水 215-1 (技術研究所)
 本社：熊本市 / 八代支店 / 合志営業所
 TEL：096-293-4400/FAX：096-293-4885
 E-mail：kenpro@muc.biglobe.ne.jp

ふうけつどうてん

「風月同天」 暮らす風土は異なっても、見上げる中天の月への有情は同じであるという意味で、世界はひとつというメッセージに使われます。

私たちのコロナ対策 (実践編)

Recommended Spot

Vol.57 May 2020 seikouudoku

新型コロナウイルス拡大により世界中が困惑しています。1日も早く普通の暮らしが戻ることを願います。



ニホンキジ

現地調査で訪れた宇城市浜戸川(右岸)でキジに遭遇。昔話では鬼退治に役立ったキジですが、日本の国鳥でもあります。メスのキジは母性愛が強いことで有名です。巢のある野を焼かれた際に、わが身に変えて子を救おうとしたキジの姿が由来となっているそうです。世界中で感染の拡大が続くコロナウイルス。4月に偶然遭遇した国鳥【キジ】にパワーをもらいました!!鬼退治ではなく、コロナ退治でウイルスに打ち勝つぞ!! h/n

今日は職場参観日



学校が休校となった3月、会社の敷地内にある「蔵」を開放し、子ども達に学の間を提供。この日は授業参観ならぬ、職場参観で普段見ることのない、親の仕事風景をのぞき見。h/n

建プロ農園始動!



建プロ農園の農園長に志願してきた女性(ミキティ)4月に畑を耕し、夏野菜を植え付け。毎日出社すると挨拶も早々に畑へ直行。水やりと草取りから一日がスタートする彼女の机には軍手が常時置かれています(笑)

五家荘の今!!

標高1,000mの五家荘では、ミツバツツジ・ヤシャブシ・ヤマフジ・ホンキリシマなどが見ごろを迎えています。ヤシャブシは痩せ地や急な斜面でも生育が早いことから、緑化にも利用される。木は肥料木、葉は水田肥料、果実は染料として様々な利用されるそうです。h/n

マスクが無い、裁縫も出来ない。だから、クマザサでマスク作ってみました! ヒデノマスク。



ヒデノマスク

時間の有効活用



新型コロナウイルスの感染拡大を受けて連休の外出自粛が広がる中、私は、家族との絆を強めるため①コミュニケーションの充実を図ること、②国家試験合格を目指すことに重点を置きGWを過ごしました。今、ウイルスが世界中で猛威を振り生命が危ぶまれる中、熊本地震で命の危機を感じた経験を思い出し、改めてリスク回避や生命の尊さについて考えさせられました。連休中は日常しないようなことで楽しみ方を工夫。強い心と目標を持ち続けてコロナに負けず、この苦境を乗り越えていきたいです。t/m

まさかに備える



熊本地震が落ち着いた頃に準備した防災BOX。気が向いた時に中身をチェックしていたつもりだったんですが...今回は想定外の見えない敵(ウイルス)への対策でした。災害に「まさか!!」はつきものですね!改めて中身(食と心)の充実を図りました。t/b

2020 私の挑戦!



新型コロナウイルス拡大の中、連休の過ごし方の家族会議を実施。我が家の取り組みは、①資格取得の勉強時間確保、②子供・奥さんの満足の工夫を試行。結果は、①の早朝や子供の昼寝・就寝時間に行う勉強で時間を確保できたが、内容不足なのでコロナより「気」との闘いか。②は5km以上の散歩+昼寝のセットで満足度を確保。家事は厳しい監督の下、不可もなく遂行?今後いつまで影響が継続するか未知だが、目指す目標と家庭の満足度向上に挑戦していきます。k/n

新型コロナウイルスで小中高校が休校...子育てする保護者は、会社等を休みがちになる...そこを補うスポットとして子供たちへ郷土會所を開放。5~6人の子ども達が集合。(左写真)親は会社で仕事。時々交代で子供たちをチェック!出来ることをみんなで協力!



粟島神社のミニ鳥居



ご利益の為に必死です。。

宇土市にある粟島神社に200年の歴史のある日本一小さい鳥居。鳥居をくぐる無病息災、健康開運など多くのご利益がある不思議な鳥居です。t/b

靴下の予防保全

以前、コーヒー屋さんで雑誌を見ていたら、靴下の穴を修理する道具があるのを知りました。ダーニングマッシュルームと言うそうです。買うと以外に高い。stayホーム中に制作。靴下に穴が開くのがまちどおしい。m/t



ダーニングマッシュルーム

身近な環境への思い (見る・食べる・楽しむ)

Human Architectur

絵に平穏と祈り描く



作 n/s



アマビエ

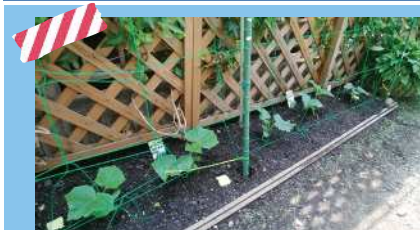
江戸時代の妖怪が令和の時代を救う?

コロナウイルスに関するニュースが毎日報じられていますが、最近では【アマビエ】という言葉をよく聞きます。肥後国(熊本県)の海に現れたとされる妖怪だそうで、「病気が流行することがあれば、私の姿を絵に描いて人々に見せよ」と告げたとされています。私も精一杯頑張って描いてみました。緊急事態宣言が発令されてから生活環境が変わりました。今は stay home で誰もが健康で乗り切りましょう! i/o

#家にいよう

新型コロナワールド Stay ホーム!

#Stay home



Tさん農園

我が家の雑草や剪定を念入りに行った。ついでに、野菜も育てて見ようとホームセンターへ、ここは大盛況の状態、マスク着用で並んでいたが前のおじさんにソーシャルディスタンスが取れていないと叱られた。「迂闊」!危機感の薄い自分を恥じたことであつた。キュウリ苗5本・土壌・肥料・掘削道具と必要材料を揃え植え付けた。総額約4000円のプロジェクトの始まりです。さて、実を何本収穫できるでしょうか? a/t

立ち止まることで見えるもの...



アザミ

食卓に紫色の見慣れない花があり、家族に尋ねると「アザミ」の花でした。ウニの殻を連想させるツツツした花と、触ると痛いトゲがある葉や茎が特徴です。道端で見かけることが多いアザミですが、日本だけでなく世界中に分布していて、北欧スコットランドでは国花です。このアザミはサボテンのような異様な姿をしています。また、道端に咲く花にも多様なエピソードがあるようで、時には立ち止まる余裕を持ちたいものです。k/s

外出自粛で親孝行



外出自粛の為、年末の大掃除より細かに掃除をし、両親が育てている庭木の選定を行った連休。お陰様で少しの親孝行となりました。n/m



身近な土木文化への思い (グリーンインフラを考える)

Civil Engineering

川の流れの移ろい



白川

阿蘇大明神御足跡石



ゴールデンウィーク期間中は自宅近くの「阿蘇大明神御足跡石」まで散歩。この石は蘇神社の祭神である健甕龍命の足跡とされ、江戸時代作成の肥後国誌に記述、平成11年に発掘。石の裏手には女神の天照皇大神の名前もありました。意外と身近なところに神様が祀られており驚くと同時に、国の成り立ち、日本神話、土地の神様などにとっても興味が湧きました。コロナウイルスに打ち勝った暁には神社やパワースポット巡りたいです。t/k

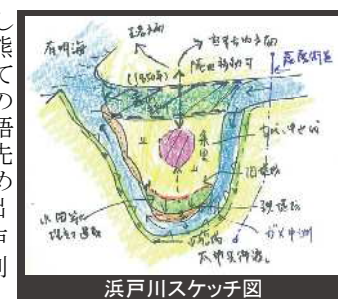
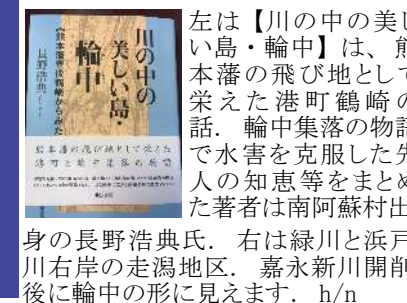
～熊本の鋼橋～【No.16】



A2橋台に到達した

左写真 阿蘇大橋令和2年度末開通に向け突貫工事中「あと少しでドッキング」がばれ!! n/s 令和2年5月9日撮影

何伝感伝 ～なんでんかんでん～ (浜戸川)



浜戸川スケッチ図

左は【川の中の美しい島・輪中】は、熊本藩の飛び地として栄えた港町蘇崎の話。輪中集落の物語で水害を克服した先人の知恵等をまとめた著者は南阿蘇村出身の長野浩典氏。右は緑川と浜戸川右岸の走湯地区、嘉永新川開削後に輪中の形に見えます。h/n

山都町からの帰り道に40年ぶりに見かけた「キツネ」犬かと思いましたが、シンボルの尾が大きくキツネだと分かった。同じく40年ぶりに見るヤマドリ。h/n



キツネ

ヤマドリ

後記：熊本地震から4年経過。復興への足跡が見え始めました。報道によると国道57号線北側ルートの10月開通、豊肥線の8月開通の目途がたったようです。これらの社会インフラは、復興のシンボルであり、命の道でもあります。今後も皆さんへ「地域復興」を中心に紹介してまいります。お陰様で、令和元年度熊本県優良業務表彰を受けました。【スポーツ会では、プロ野球・サッカー・大相撲をはじめ甲子園・総体等が中止となった。今しばらく我慢して必ず体と心の糧に。今後必ず活かされます!】